

*Stereoscopic*モードは、各プロジェクトごとに設定可能です。このモードを設定することで、ステレオLとRチャンネルの表示及びグレーディングが可能となります。

ステレオの設定

プロジェクトをステレオ設定にするには：

1. ダイナミックマルチレゾリューションデコーディング
2. ステレオモードを選択します(インターレースのDVIデバイスを使用している場合)の設定をする必要があります。

★ DVS CentaurusIIライセンス

ステレオマルチトラックモード時にSDI出力を使用する場合、DVS CentaurusIIのMultideviceオプションが必要となります。

プロジェクト設定

ステレオは各プロジェクトで個別に設定することができます。プロジェクトのステレオを有効にするには、メイン画面のプロジェクトリストからステレオにしたいプロジェクトを選択し、*Stereoscopic Output*ボタンにチェックをします：

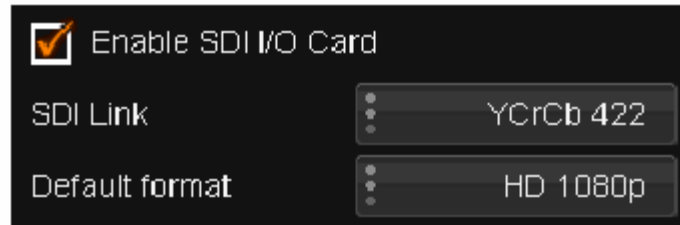


アプリケーションプリファレンス

SDIビデオとインターレースDVIのステレオ出力に対応しています。

SDI

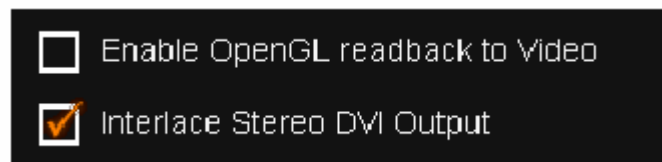
*Preferences/Monitoring/VideoIO: Enable SDI I/O Card*をチェックし、SDI I/Oカードを有効にします:



インターレースDVI

対応しているディスプレイデバイスにDVI経由でインターレースステレオの出力ができます。ステレオディスプレイデバイスにインターレースDVIを使用する場合、以下の設定を行って有効にします:

*Preferences/Monitoring/VideoIO: Interlace Stereo DVI Output*にチェックします。

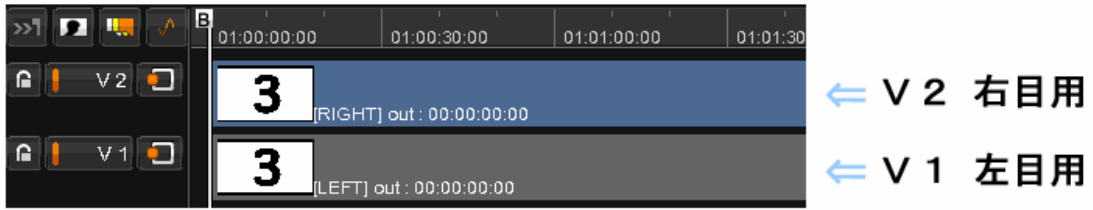


★ *Interlaced Stereo*モードは、OpenGL readbackと一緒に使用することができません。readbackが有効になっている時は、このメニューは表示されません。

ステレオを使用する

プロジェクトの*Stereoscopic Output*を有効にしたら、ステレオディスプレイデバイス(SDIもしくはDVI)へ自動的にステレオが出力されます。

V1とV2トラックを持つコンポジションは、左目用と右目用のステレオチャンネルとしてディスプレイデバイスに出力されます。



ステレオチャンネルのSDI出力は下記のようになります：

トラック	ステレオ	SDIアウトプット
V1	左	A
V2	右	B

★この出力の順序は、general.prefで逆に変更することができます：

reverseStereoOutput

このパラメータは、プリファレンスファイルのIOカードに記述されています。

表示

FilmMasterでは、コンペアモードを使用すると、トラック間の2つのステレオチャンネルを比較して表示することができます。

マルチトラックグレーディング

*Multitrack Grading*を有効にすることにより、両方のステレオチャンネルを同時にグレーディングすることができます。

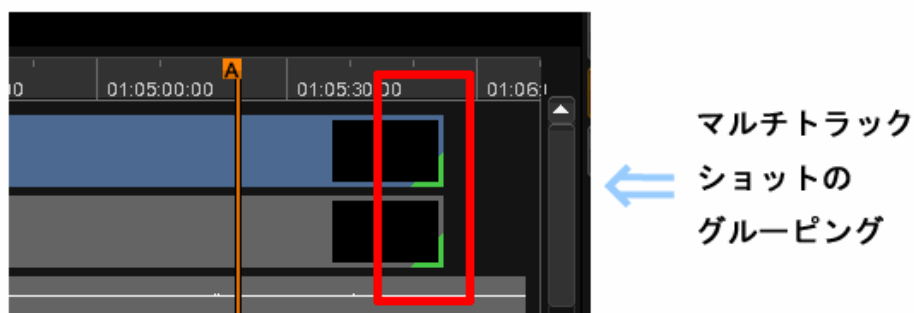
*Memories*モードに切り替えます：



Shotモードに切り替えて、下記で表示しているボタンを使用してMultitrack Gradingを有効にします：

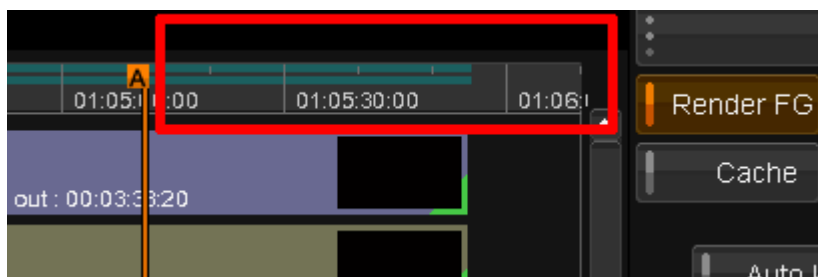


Multitrackモード内でグループされているショットは、タイムラインのセグメントの右側に緑色のトライアングルの表示になります：



★ メモ：二つのトラックが同じ長さの尺の場合のみに、Multitrackモードは有効になります。

また、レンダリングインジケータのバーは、各トラックのレンダリングステータスを表示します：



このようにして、各トラックにグレーディングが行えます。